

◇ 旗 振 り テ キ ス ト ◇

1. 街頭に立つ前に

- (1)活動しやすく、目立つ服装で安全に配慮する。
- (2)はき物は、かかとのしっかりしたものをはく。(サンダルは不可)
- (3)雨の日はカッパを着用し、傘は使用しない。(タスキはカッパの上から)

2. 実際に立つ場合

- (1)子どもの安全を守るとともに、自分の安全にも注意する。
- (2)二人一組の場所は、二人の意思を一致させ、行動の指示は一つにする。

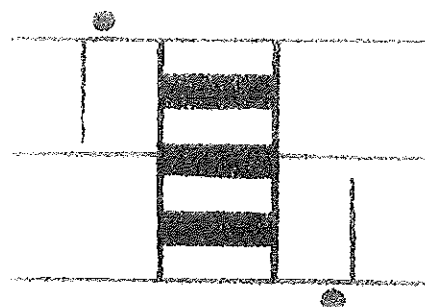
3. 旗振り場所（位置）

(1)横断歩道がある場所

- ①車道に出ない。
- ②危険な交差点の角は立つ位置を工夫する。
- ③停止線と横断歩道の間で車道にでない場所がのぞましい。

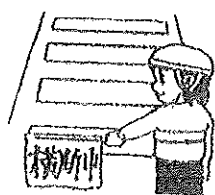
(2)横断歩道がない場所

- ①左右の見通しのよい所に立つ。
- ②道路の端に余裕のある所に立つ。
 - ・緊急以外の携帯電話の使用禁止（緊急時でも子どもの横断中は使用しないこと）
 - ・未就学児の同伴は不可



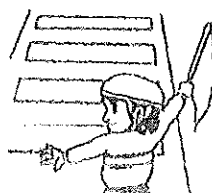
4. 旗の振り方【3つの基本】（子ども達から見た場合）

ア 赤の意味



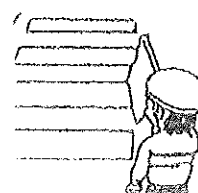
子どもが渡らないように止める

イ 黄色の意味



旗を斜めにあげ、子どもが渡らないよう手で止める

ウ 青の意味



車が停止したのを確認してから渡らせる

5. 定周期信号のある場所

- (1)信号機に従って【3つの基本】により横断させる。
- (2)右折・左折の車に注意して横断させる。

6. 押しボタン式信号のある場所

- (1)交通の状況にあわせて信号機を操作する。(必ず、子どもにボタンを押させること)

7. 信号機の場所

- (1)なるべく車の途切れる時をねらって横断させる。
- (2)やむを得ず車を止める場合は、次の点に心がける。
 - ①横断歩道から50m以上（電柱2本以上）離れていること。
 - ②学童を適当に切って、だらだら横断させない。
 - ③車が止まってくれる時間は、最高30秒くらいまでとする。

8. 最後に

- (1)停止してくれたドライバーに軽い会釈をする。
- (2)大人が正しい手本を示し、必ず手を上げて横断しましょう。

※ 4月16日 交通安全教室にお越しになる方はこのテキストを必ずご持参ください。